

院長よりごあいさつ

令和 2 年から続いているコロナ禍ですが、今年度、当院ではコロナ対策をしっかり維持しながらも、本来の地域医療と両立させるよう体制づくりを行いたいと考えております。特定中核病院である当院には、何としても地域医療を守るという使命があります。特に重要な、救急、総合診療、一般医療、周産期・小児医療など地域の皆さんにとって必要不可欠な医療に尽力させていただきます。

また、高度急性期医療や高度専門医療につきましては、県立はりま姫路総合医療センターなどの基幹病院と緊密に連携し、当院での治療が難しい患者さんにも最適な医療を提供することができるようになりました。

地域医療を将来にかけて持続可能なものにするためには若手医療者の教育が重要で、大学病院、基幹病院、兵庫県下のへき地拠点病院などと連携しながら、臨床研修病院として地域医療を担う人材育成と確保に努めていきたいと考えております。

何卒、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



この度！

宍粟総合病院内科で超音波内視鏡（EUS）を導入しました！

最新の内視鏡用超音波観測装置（EU-ME3）と超音波内視鏡用スコープを購入したので、より詳しい検査が当院でも可能となります。

超音波内視鏡で何がわかるの？

膵癌の検出に大変有効と言われております。CT や MRI 検査と組み合わせることで小さな膵癌も見つけることが可能となります。また、胆管や胆嚢の病気も詳しく観察することが可能です。



入院しないと内視鏡超音波検査はできないの？

外来でも検査可能です。ただし、通常の内視鏡スコープよりかなり太いスコープになるので、検査は眠り薬（点滴の鎮静剤と鎮痛剤）を用います。検査後にしっかりと目が覚めれば帰宅できますが、検査後当日は車の運転は出来ません。



他にどんなことが出来るの？

スコープの先端から特殊な針を出して細胞の検査ができます。膵癌や胃粘膜下腫瘍の細胞検査が可能ですが、検査は出血などのリスクがあるため数日間の入院検査となります。



内科部長の八木洋輔医師が膵臓学会の指導医と胆道学会の指導医を取得しており、その分野の病気・検査に精通しておりますので、いつでもご相談ください！

4月から新たに公立穴栗総合病院で勤務する方々の紹介です！

新人紹介

- 1. アピールポイント
- 2. 市民の皆さんへ一言

- 1、食べ放題では元を取るために、海苔で稼ぎます！
- 2、お役に立てるよう一生懸命頑張ります。

内海 舞香



3階北病棟

- 1、笑顔と思いやり！
- 2、まだわからないことばかりですが、皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。

鳥居 奈桜



- 1、キュートな笑顔！
- 2、新人1年目なので、先輩方に教えていただきながら少しずつ知識、技術を身につけ、地域に貢献できるように頑張ります。

東田 彩芽



3階南病棟

- 1、頭と筋肉を使って精一杯頑張ります！
- 2、至らぬ点多々あるかと思いますが、よろしくお願いします。

丸井 聖達



- 1、コミュニケーションを取るのが大好き！
- 2、新しいことの毎日ですが、楽しく頑張っています。よろしくお願いします。

澤野 萌華



4階病棟

- 1、私の笑顔で最高の癒しを届けます！
- 2、相手の立場に立って考え、皆さまが笑顔で過ごせるように頑張ります。

小林 愛奈



5階病棟

- 1、体力だけは負けません！
- 2、地域の方々を支えられる看護師になれるように頑張ります。

田中 美帆



5階病棟



- 1、笑顔いっぱい、元気を届けます！
- 2、笑顔を忘れず、患者様を第一に接していきます。

安川 礼奈

- 1、走ることは誰にも負けません！
- 2、迷惑をかけることがあると思いますが、日々できることを増やして頑張ります。



末石 義暉

MEセンター

- 1、細かい作業が好きです！
- 2、日々研鑽を積んで、宍粟市の地域医療に貢献していきたいと思っています。



中村 光

検査科



- 1、親しみやすい検査技師！
- 2、不安なく検査を受けてもらえるよう丁寧な説明と声掛けを心がけて頑張ります。

高部 千聡

- 1、宍粟市愛があります！
- 2、宍粟市の医療に貢献できるように頑張ります。



井上 晴菜

リハビリテーション科

- 1、親しまれる作業療法士！
- 2、一人一人に寄り添ったりハビリを行っていききたいと思います。



竹内 萌花

フレッシュで元気な力で、頑張っ^て当院を盛り上げていただきたいと思います！



病院広報「にじいろ」

左のQRコードや下のURLからwebでも
チェックできます！

[<http://www.shiso-hp.jp>]

Check !



命の授業

「命の授業に、実際に現場で働く助産師さんに来てほしい。」と学校からの依頼を受け、平成18年より、市内の小学校で命の授業を開始しました。当初は希望がある学校のみでしたが、現在は市の教育委員会と連携し、市内の全小学校に訪問できるように調整しています。内容は1・2年生に「命の誕生」、3・4年生に「第二性徴」についてお話しし、胎児モデルや胎内画像、産声などを使用し、「命」を感じ取れるように工夫しています。



授業後の子どもたちの感想文を一部ご紹介します！



「今日初めて赤ちゃんが生まれるのを知り、赤ちゃんが自分で考えながら生まれるのがすごいと思いました。」



「最初は鉛筆のちょんぐらい小さいのにそれが3キロも大きくなるのがすごいと思いました。」



「赤ちゃんってこんなに重たいんだと知りました。看護師さんも大変だなと思いました。また授業を受けたいです。」

子どもたちの声に私たちが元気をいただいています！

今後も継続した思春期教育を実施し、教育現場とともに子どもたちの育成に携わっていきます。

当院は播磨北西部で唯一の分娩施設です。平成11年の開院から現在まで8,000人以上の赤ちゃんが誕生しています。そんな当院では、出産だけでなく、妊娠～産後までの育児の不安をケアするために「母と子の相談室*」を行っています。

* 母と子の相談室（予約制）毎週金曜日 13:00～16:00



「赤ちゃんの体重が適正なのか見てほしい」「母乳が足りているか心配」「赤ちゃんがよく泣いて寝ない」など、出産や育児に対する不安や悩みを解決できるよう地域の保健師と連携し支援しています。今後も、妊産婦支援の充実のために、アドバンス助産師を中心に自己啓発に努め、専門的能力を高めるよう日々取り組んでいきます。



母と子の相談室